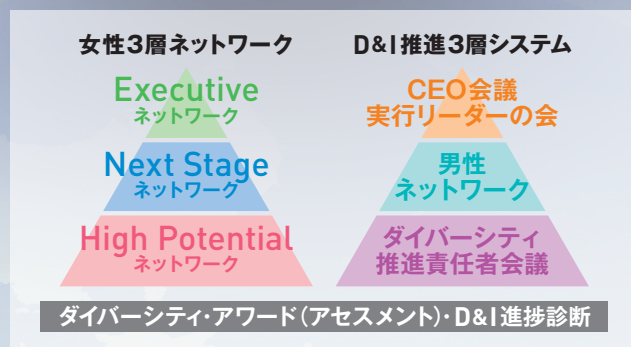


Diversity Management is the Game Changer



Japan Women's Innovative Network

NPO法人 J-Win 特定非営利活動法人
ジャパン・ウイメンズ・イノベティブ・ネットワーク



J-Win は、ダイバーシティ・マネジメントの推進を支援し、企業競争力強化に貢献します



ダイバーシティ推進は イノベーションを起こす経営戦略の要です

理事長 内永ゆか子

デジタル技術、ITの進化によりグローバル化が進んだ今日において、世界中の出来事は瞬時に連動し、企業のビジネス環境にも影響を与えながら、その変化を加速させています。

日本企業がこの激変の時代を乗り越えていくには、これまでの成功体験にとらわれることなく、イノベーションを生み出していくことが必要となります。多様な価値観を持つ人材を活用し、互いに理解・尊重しながら新しいビジネスモデルを創造し、組織を活性化するダイバーシティ&インクルージョンの促進が、イノベーションの重要な原動力であり、有効な経営戦略となるのです。なかでも日本においては、世界から大きく後れを取っている女性の活用がダイバーシティ・マネジメントの第一歩となります。

J-Winは2007年の創立以来、会員企業がダイバーシティ・マネジメントを推し進めるための支援を行って参りました。これからも会員企業の企業競争力強化に貢献するとともに、今日のグローバル社会で活躍できる女性リーダーの輩出に寄与して参ります。

理事・監事 (敬称略/2022年1月現在)

[理事長]
内永ゆか子 J-Win 理事長

[理事]
藤原邦子 J-Win 理事
横尾敬介 株式会社産業革新投資機構 代表取締役社長CEO
板東久美子 日本司法支援センター 理事長
古賀伸明 連合総合生活開発研究所(連合総研)理事長

[理事]
田村良明 元AGC株式会社 代表取締役 専務執行役員
川崎重工工業株式会社 社外取締役
DIC株式会社 社外取締役
吉丸由紀子 積水ハウス株式会社 取締役
白川方明 前日本銀行 総裁
青山学院大学国際政治経済学部
特別招聘教授

[監事]
小原哲郎 J-Win 監事

J-Winの目的

- 企業の「経営戦略」であるダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する
- 業種や専門分野の枠を超えた会員企業、メンバーによる相互研鑽の機会を提供し、女性リーダーの育成を支援する
- 日本社会へのダイバーシティ&インクルージョンの浸透、理解促進をめざした活動を行う

Women to the TOP! 女性リーダー育成活動

- 職位別3層の女性ネットワーク
- Executive ネットワーク
- Next Stage ネットワーク
- High Potential ネットワーク

経営戦略としてのD&I* 企業のD&I推進支援活動

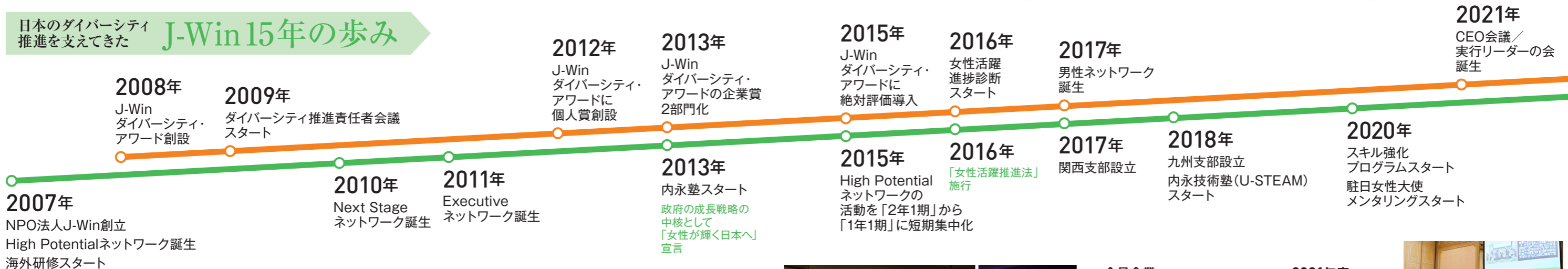
- CEO会議/実行リーダーの会
- 男性ネットワーク
- ダイバーシティ推進責任者会議
- J-Winダイバーシティ・アワード

*D&I=ダイバーシティ&インクルージョン

発信とネットワーク 社会へのD&I推進活動

- グローバル展開
- 国や他団体との連携
- セミナー・講演・広報活動

日本のダイバーシティ 推進を支えてきた J-Win 15年の歩み



創立時の女性メンバー数
234名

創立時の会員企業数
74社

海外研修参加者累計

1,405名

アメリカ(ワシントンD.C.・ニューヨーク・ボストン)
カナダ、イギリス、ノルウェー、スウェーデン、
フィンランド、オーストラリア、アイスランド
(2022年1月現在 ※オンライン海外研修含む)



会員企業
メンバー累計

4,098名

2021年度
会員企業数

98社

(2007年から2021年までに女性3層ネットワーク・男性ネットワーク・CEO会議/実行リーダーの会の活動に参加したメンバー)



女性の意識向上と「Women to the TOP!」をめざします

企業における女性の活躍推進には、女性自身の意識改革が必須です。職位に応じた3層の女性ネットワーク活動を通じ、相互研鑽や相互連携を図り、女性リーダーを育成しています。

● High Potential ネットワーク

キャリアアップに向けた意識確立

High Potentialネットワークのメンバーは、会員企業から選出された管理職または管理職一歩手前の女性で構成されています。「Women to the TOP!」を目標に、約250名のメンバーが1年間の活動を通じて自身のキャリアアップ意識を確立、Switch-Onしていきます。

定例会や分科会などの活動では、幹事や実行委員、分科会リーダーなどの役割を主体的に担い、業種・業態の枠を超えて相互研鑽しながら、ネットワークを深め、リーダーシップマインドやマネジメント能力を体得。卒業時にはネットワーク形成とともに自身の成長を実感できるまでになります。

活動内容 定例会／分科会／合宿／海外研修

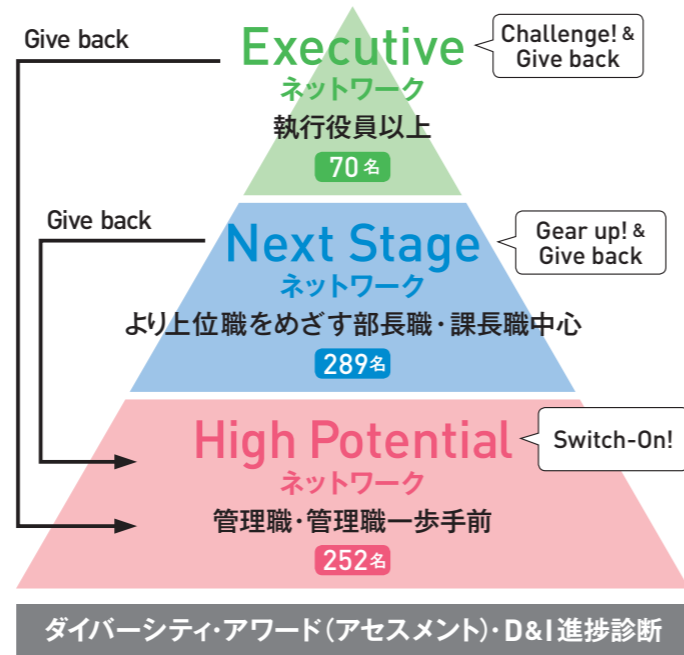
運営体制 幹事会／実行委員会

J-Winに参加したメンバーの成長実感

	活動開始時	卒業時
TOPを目指したい	53%	87%
リーダーになりたい	67%	94%
会社で一歩上をめざしたい	89%	98%
目指す姿を明確に持っている	51%	92%

(2020年度 第10期High Potentialネットワークメンバーのアンケートより)

Women to the TOP! 女性3層ネットワーク (611名)



人数は2021年12月現在

拡大会議

拡大会議は、会員企業メンバーと多くの関係者が1年間のJ-Win活動を振り返る場として開催しています。アドバイザーボードメンバーのほか、行政や学識経験者、各国大使館の方などをお招きしています。拡大会議ではHigh Potentialネットワークの分科会活動報告が行われ、それぞれのチームが目指すD&I推進を参加者全員で確認する機会にもなっています。当日は、J-Winダイバーシティ・アワードの表彰式も併せて行っています。



J-Winへのメッセージ

J-Winアドバイザーボードおよびオブザーバーの皆さまからのメッセージです。J-Winが果たしてきた役割、今後への期待などについてお寄せいただきました。(敬称略／氏名50音順／2021年12月現在)



稲垣 精二
第一生命保険株式会社
代表取締役社長

女性社員が9割を占める当社では、女性活躍は重要な経営戦略の一つです。J-Win 設立当初より多くのメンバーが参加し、社内では得られない経験と気づきと自信を持ち帰り各組織で活躍しています。今後も J-Win での活動を通じて、D&I 推進にスピードをもって取り組んでまいります。



上ノ山 信宏
株式会社
みずほフィナンシャルグループ
取締役 兼 執行役 人事グループ長

みずほフィナンシャルグループは、J-Win 設立当初から活動に参画しています。活動を通じて切磋琢磨した女性がその後社内で自信をもって活躍する姿は、他の社員へ力を与えてくれます。今後もそのような人材が活躍できるよう、本活動の一層の発展を期待しています。



北村 亮太
日本電信電話株式会社
執行役員 総務部門長

これまでJ-Winへ参加したNTTグループ社員は100名を超え、内5名の卒業生が役員として活躍しています。異業種交流等を通じて刺激を受け、自ら成長しながらキャリアアップをめざす姿は、社内のD&I推進にも良い影響を与えています。今後も、J-Winの活動に期待しています。



木村 智広
株式会社三菱UFJ
フィナンシャル・グループ
グループCHRO

創設期から参加し、女性リーダー育成活動を通じて得た経験やネットワークを原動力に、多くの卒業生が管理職にチャレンジしています。役員になった卒業生は、後輩へのgive backを積極的に行っています。引き続きJ-Winを活用しダイバーシティ推進に取り組んでまいります。



古出 眞敏
アフラック生命保険株式会社
代表取締役社長

アフラックでは重要な経営戦略として女性活躍推進に取り組んでいます。J-Win の活動への参加を通じて女性活躍推進は着実に進展し、会社の変革のドライバーとなっています。今後も J-Win が社会全体のダイバーシティ推進を牽引されることを期待しています。



高橋 誠
KDDI 株式会社
代表取締役社長

女性が自らの強みを活かして活躍し、会社の意思決定に参画することで組織や企業力の強化、お客様への創造的な価値提供が可能となり、持続的成長につながると考えます。J-Win 発足以降様々なプログラムで学んだ当社女性社員が現在幅広い領域で活躍しています。

● Next Stage ネットワーク

知識／スキルの習得 組織運営の実践

より上位職をめざし、企業人としてGear Upすることを目的としたNext Stageネットワークの活動。2020年からはメンバーを対象とした「今さら聞けないセミナー」が新たに加わるなど、ビジネスリーダーとしての自覚とスキルを身に付け、次なる目標であるExecutiveを目指していきます。

また、High Potentialネットワークの分科会活動を支援するなど、後進の指導・育成にあたることで、さらなる自身の成長にも繋げていきます。

活動内容 定例会／研究会／勉強会／合宿・活動報告会／スキル強化研修

運営体制 幹事会／委員会

Next Stage 強化プログラム 内永塾・内永技術塾

部長職相当の女性を対象とした「内永塾」は、経営層をめざす人材の育成塾です。経営者に必要な胆力を鍛え、人間力をつけ、気づきを得て、行動変革を起こすことを目的としています。2013年度のスタートから現在までの卒業生149名から17名の執行役員が誕生しました。

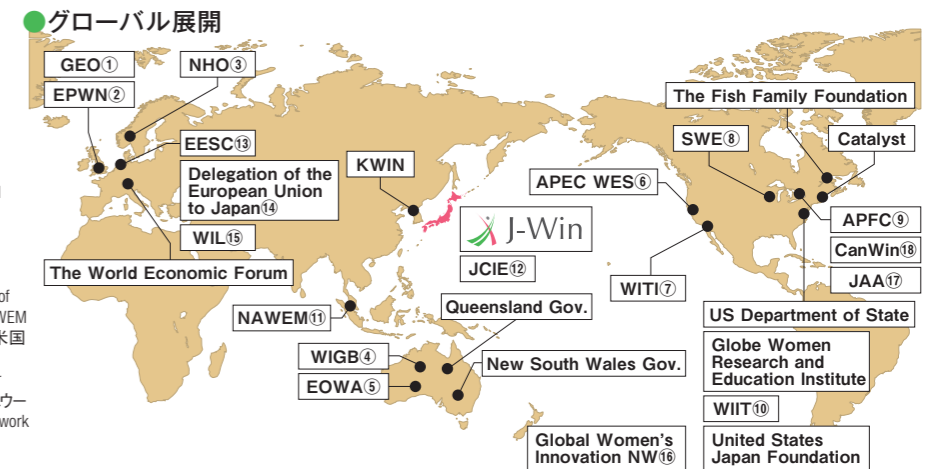
2018年度にスタートした「内永技術塾 (U-STEAM)」は、技術系課長・係長職相当の女性が対象です。技術系リーダー候補者の創出、継続的ネットワークの構築を目的としています。

社会へのD&I推進活動

国内外のネットワークを広げ社会へのD&I推進に貢献します

J-Winは、国内や諸外国の行政機関や団体と連携を結び、女性の活躍を推進。また、セミナーや講演、広報活動により、D&Iのすそ野拡大をめざしています。

① GEO : Government Equalities Office ② EPWN : European Professional Women's Network ③ NHO : The Confederation of Norwegian Enterprise ④ WIGB : Women In Global Business ⑤ EOWA : Equal Opportunity for Women in the Workplace Agency ⑥ APEC WES : APEC Women and the Economy Summit ⑦ WITI : Women in Technology International ⑧ SWE : The Society of Women Engineers ⑨ APFC : The Asia Pacific Foundation of Canada ⑩ WIIT : The Association of Women In International Trade ⑪ NAWEM : National Association of Women Entrepreneurs of Malaysia ⑫ JCIE : 日米国際交流センター ⑬ EESC : European Economics and Social Committee ⑭ Delegation of the European Union to Japan ⑮ WIL : European NW For Women In Leadership ⑯ Global Women's Innovation NW ⑰ JAAビジネスウーマンの会 (New York) ⑱ CanWIN : Canadian Women's International Network



経営戦略としてのダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援します

J-Winでは女性リーダー育成活動と併せて、D&I推進支援活動を行っています。2009年にスタートさせた「ダイバーシティ推進責任者会議」に加え、2017年からは男性管理職がChange Agentとなる「男性ネットワーク」を、さらに2021年には経営トップ自らがコミットする「CEO会議/実行リーダーの会」を立ち上げています。

● CEO会議／実行リーダーの会

経営戦略としてのD&I推進を加速

CEO会議はダイバーシティ&インクルージョン（以下D&I）を経営戦略として位置づけ、経営トップ自らがコミットする会議体です。CEOが女性活躍推進の現状を受け止め、本質的な課題の抽出、ディスカッションを通してアクションプランを実行し、強力なリーダーシップのもと、D&I推進を成果あるものへと繋げていきます。

実行リーダーの会は、D&I推進担当役員により構成され、CEO会議での進行をフォローし、アクションプランの実行支援などを役割としています。

D&I推進の真の重要性は、考え方の多様性を互いに認め合い、組織の文化を変え、新たな価値創造に繋げること。CEOそれぞれが想いと課題をぶつけ合い、CEO同士による活発な意見交換により、貴重な知見の共有が進み、具体的な行動へと移すことを目指しています。

活動内容 CEO会議／実行リーダーの会 定例会

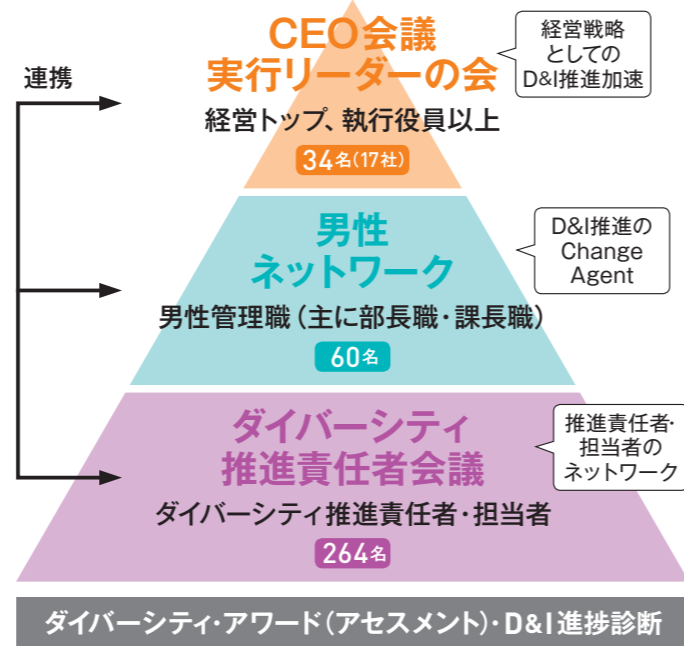
● 男性ネットワーク活動

D&I推進のChange Agentとなる

2017年度、会員企業の部長職、課長職を中心とした男性管理職を対象に男性ネットワークはスタートしました。女性の活躍を阻む問題「オールド・ボーイズ・ネットワーク」をテーマに、グループワークやディスカッション、ラウンドテーブルを通じて、ダイバーシティ推進の本質価値に気づき、理解します。女性活躍を推進するために男性管理職がとるべき行動や施策を自らが考え、実行に結び付けていく活動です。

活動内容 定例会／分科会

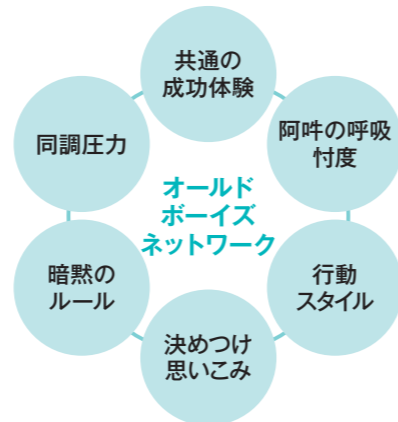
経営戦略としてのD&I D&I推進3層システム (358名)



人数は2021年12月現在

オールド・ボーイズ・ネットワークとは…

成功した組織や企業の中で培われてきた明文化されていない約束事やルール、仕事の進め方。その組織を支えてきた暗黙の文化や雰囲気。



林伴子

内閣府
男女共同参画局長

新型コロナウイルスによる変化を契機ととらえ、政策をイノベーションしていくことで、より多くの女性が活躍できる社会を目指します。また、J-Winの活動を通じて、企業における女性活躍が更に加速し、多様性による化学反応が全国各地で起こることを期待いたします。



原伸一

SOMPOホールディングス株式会社
グループCHRO 執行役常務

当社グループはD&Iを重要な経営戦略として位置づけ、女性活躍推進に注力しています。J-Winには0期から参画し、これまでに多くの社員がJ-Winで学び活躍しています。J-Winの発展とともに社会の女性活躍がさらに広がることを期待しています。



吉田昭夫

イオン株式会社
取締役
兼 代表執行役社長

イオンは、多様な人材の価値観や能力を活かした経営で、社会の変化に柔軟に対応し「お客さま第一」の実現を目指してきました。J-Winでの貴重な学び・交流を経験した112名が、さらにグループのD&Iを牽引し、新たな価値を創出することを期待します。



大高豪太

国土交通省
総合政策局長

国土交通省では、運輸業、建設業、観光業など所管業界における女性活躍推進の取組を進めております。J-Winにおかれましては、ダイバーシティ&インクルージョンの牽引役となる女性リーダー育成の場として、さらに発展されることを期待しています。



山田雅彦

厚生労働省
雇用環境・均等局
局長

厚生労働省では、令和4年4月の改正女性活躍推進法本格施行に向けた周知啓発をはじめ、様々な取組を進めています。こうした取組と、J-Winの女性リーダー育成活動などの企業の取組が相乗的に進むことで、社会全体で女性の活躍が進むことを期待しております。



龍崎孝嗣

経済産業省
大臣官房審議官
(経済産業政策局担当)

産業構造が急激に変化する中、多様性確保、特に女性活躍は我が国経済や企業が勝ち抜く上でも必要不可欠です。経済産業省は、Next Stageの事業連携等を通じてJ-Winをご支援しています。男女共同参画が一日も早く当たり前となるよう、引き続き突破力ある取組に期待します。

● ダイバーシティ推進責任者会議

ダイバーシティ推進責任者・担当者のネットワーク

会員企業のD&I推進に貢献することを目的に、ベストプラクティス研究会などの活性化によりネットワークとしての価値を高めるとともにD&I推進3層システムのベースとして提案機能強化へと繋げていきます。

立場を同じくする企業のD&I推進者が各種プログラムを通して知見を深めるとともに、業種を超えたネットワーク構築の場としています。

活動内容 ダイバーシティ推進責任者会議／ベストプラクティス研究会

D&I最新動向の共有

D&I推進ベストプラクティスや先進事例の紹介、J-Winダイバーシティ・アワードからの情報提供、さらに特定の課題について会員企業同士が情報を共有し、解決の気づきを得るグループワークなどを行います。

ラウンドテーブルによる課題解決

会員企業の担当の方々がD&Iを推進する中で日頃抱えている課題や疑問について、D&Iに関する第一人者の講師や他の出席者と共有・対話することにより、解決に直接つながるヒントを得ています。

● ダイバーシティ進捗状況の数値化・見える化

J-Winでは、長年、企業のD&I推進の実態を調査・分析・支援してきた実績をもとに、各企業におけるダイバーシティの進捗状況を数値化することで、自社の立ち位置とレベルが把握できる進捗診断ツールを開発しました。

女性活躍を阻む3つの問題を解決するために8つの取組領域を定め、領域ごとに取組みの数値化（設問数97、満点765点）をしています。これに職位別女性比率などの実績（設問数11、満点335点）を加えた総合点1,100点により見える化します。

女性の活躍を阻む3つの問題

- 将来像が見えない
- 仕事と家事・育児とのバランス
- オールド・ボーイズ・ネットワーク

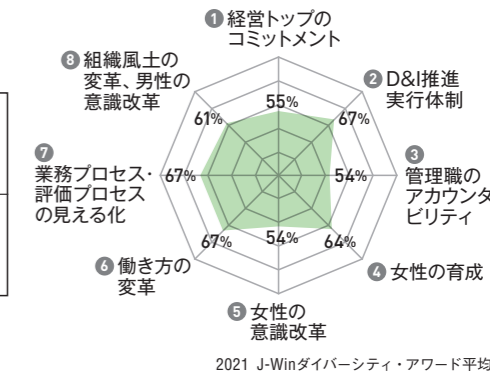
女性活躍推進のための重要な取組8領域

- | | 問題の解決策 |
|--------|---|
| マネジメント | ① 経営トップのコミットメント
② D&I推進実行体制
③ 管理職のアカウンタビリティ |
| 女性 | ④ 女性の育成
⑤ 女性の意識改革 |
| 会社の仕組み | ⑥ 働き方の変革
⑦ 業務プロセス・評価プロセスの見える化
⑧ 組織風土の変革、男性の意識改革 |

数値化

設問 97
満点 765点

見える化



2021 J-Winダイバーシティ・アワード平均

● **スポンサー会員** (10社)

アフラック生命保険株式会社
イオン株式会社
ANA ホールディングス株式会社
NTTグループ
KDDI株式会社

SOMPOホールディングス株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

● **協賛会員** (4社)

JSR株式会社
TDK株式会社
東京エレクトロン株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

● **一般会員** (84社)

株式会社IHI
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アスクル株式会社
あずさ監査法人
アステラス製薬株式会社
アズビル株式会社
荒川化学工業株式会社
アルプスアルパイン株式会社
EY Japan
株式会社内田洋行
エイチ・エス損害保険株式会社
エーザイ株式会社
AGC株式会社
SGホールディングス株式会社
大阪ガス株式会社
花王グループ
学研グループ
亀田製菓株式会社
キューピー株式会社
キリンホールディングス株式会社
株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
コニカミノルタ株式会社
サッポロホールディングス株式会社
サントリーホールディングス株式会社
JFEホールディングス株式会社
株式会社JCOM
株式会社JTB
株式会社ジェーシービー

株式会社商工組合中央金庫
昭和電工マテリアルズ株式会社
住友化学株式会社
住友重機械工業株式会社
生化学工業株式会社
株式会社西武ホールディングス
セコム株式会社
大日本印刷株式会社
太陽工業株式会社
株式会社千葉銀行
中外製薬株式会社
DIC株式会社
帝人グループ
東急株式会社
東京海上日動システムズ株式会社
東京ガス株式会社
有限責任監査法人トーマツ
東レ株式会社
トランスコスモス株式会社
中日本高速道路株式会社
株式会社西日本シティ銀行
株式会社ニチレイフーズ
日本財団
日本信号株式会社
日本ゼオン株式会社
日本電気株式会社
日本ペイントホールディングスグループ
日本アイ・ビー・エム株式会社

日本航空株式会社
日本生命保険相互会社
日本たばこ産業株式会社
ネットワンシステムズ株式会社
株式会社PFU
ピジョン株式会社
株式会社日立ハイテク
株式会社フォレストホールディングス
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
株式会社フジタ
富士通株式会社
株式会社ブリヂストン
古河電気工業株式会社
株式会社ベルシステム24
HOYA株式会社
ボストン・サイエンティフィック
本田技研工業株式会社
三井情報株式会社
三井住友信託銀行株式会社
三菱重工業株式会社
三菱マテリアル株式会社
明治安田生命保険相互会社
ヤマトホールディングス株式会社
株式会社ゆうちょ銀行
株式会社リクルート
株式会社リコー
株式会社りそな銀行
株式会社ロソン



NPO法人 J-Win 特定非営利活動法人
ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-10 九段クレストビル5階

TEL 03-6380-8420 FAX 03-6380-8427 URL <https://www.j-win0.jp>
E-mail info1@j-win.jp Facebook <https://facebook.com/JWinNPOOrg>

関西支部・九州支部 / 福岡県福岡市博多区東比恵3-1-2 株式会社フォレストホールディングス内